

類別：機械器具03 医療用消毒器 一般的名称：小型包装品用高圧蒸気滅菌器  
JMDNコード：38671020 クラス分類：管理医療機器 特定保守管理医療機器

## 販売名 ベルクレーブ DS-Y108

### 【警告】

- ①運転中は装置及び収納容器は高温になるので、火傷に注意する。
- ②圧力が異常上昇した場合は電源を切る。
- ③電圧及び電気容量が適合していることを確認する。
- ④使用時、必ず市販のインジケータを使用して滅菌効果を確認する。

### 【禁忌・禁止】

- ①引火性、爆発性物質を入れて使用しないこと。
- ②医療機材以外の物は滅菌しないこと。
- ③滅菌物を本機で保管しないこと。
- ④修理技術責任者以外の者で、本機を分解・修理・改造しないこと。
- ⑤アースを接地しないで使用しないこと。
- ⑥本機に磁力を発生するものを近づけないこと。

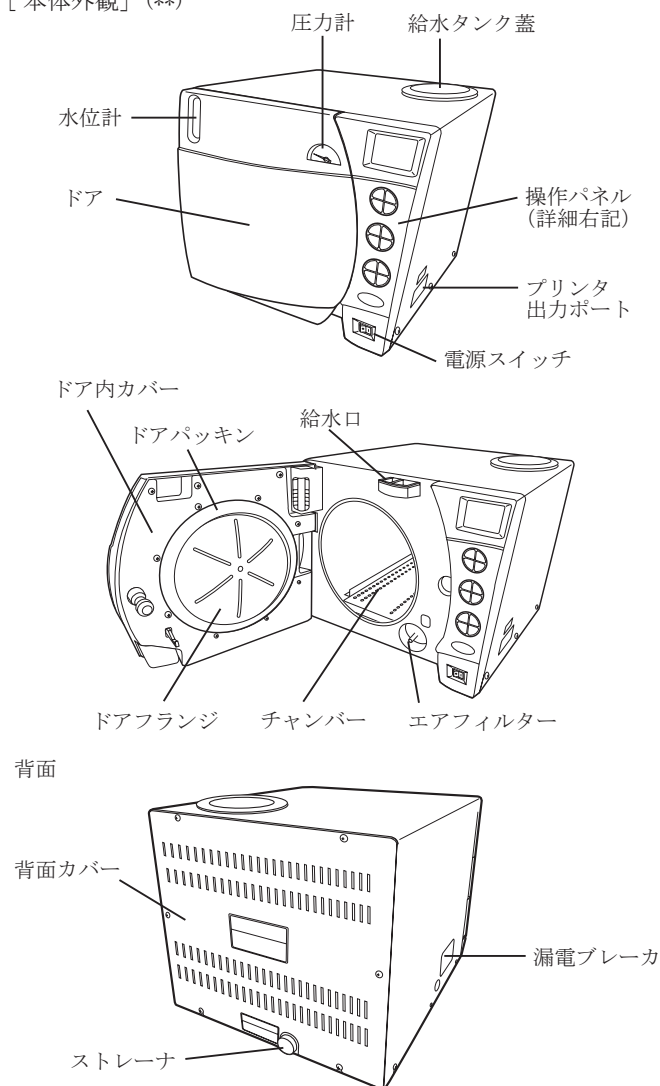
### 【形状・構造及び原理等】

#### 【構成】

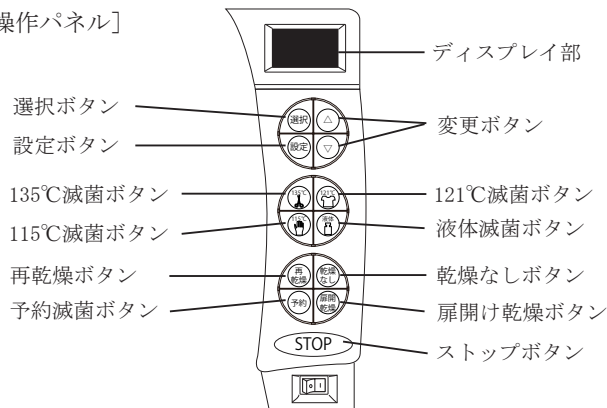
本機の構成は下記の通り。

- ①本体
- ②付属品 トレー台、トレー、トレー取っ手

#### 【本体外観】（\*\*）



#### 【操作パネル】



#### 【寸法】

幅426×奥行469×高さ366mm（±10%）

#### 【重量】

約32kg

#### 【電気的定格】

- ①定格電圧及び定格電源周波数：AC100V 50/60Hz
- ②電源入力：1.2kVA±0.1kVA
- ③電撃に対する保護の形態による分類：クラスⅠ分類

#### 【EMC適合】

・本製品は、EMC規格 JIS C 61326-1:2017 に適合している。

#### 【使用環境条件】

- ①使用場所 屋内
- ②周囲温度 10～35℃
- ③相対湿度 15～85%（但し結露なきこと）  
※温度35℃の時は湿度48%以下  
湿度85%の時は温度28℃以下
- ④気圧 800～1013hPa
- ⑤過電圧カテゴリⅡ（設置カテゴリⅡ）（\*）
- ⑥汚染度2（\*）

#### 【動作原理】

一定量の水をチャンバー内に導入し、滅菌ヒーターにて加熱することにより、大気圧を超える飽和水蒸気によって、微生物を殺滅する。この一連の工程をマイクロコンピュータで制御する。

#### 【基本的な動作工程】

本機の滅菌動作はドアロック、予熱、給水、加熱、滅菌、排蒸、乾燥、完了の各工程に分かれる。  
一連の動作について、工程毎に以下に記す。

##### ①ドアロック工程

被滅菌物をチャンバー内に収納し、ドアを閉じると、ドアセットセンサーが検知し、ドアセット状態となる。  
操作パネルの運転ボタンを押すと、ドアがロックされ、運転が開始する。

##### ②予熱工程

滅菌ヒーター、乾燥ヒーターが動作し、チャンバー内が目標の温度に達するまで加熱する。

##### ③給水工程

給水電磁弁が開き、給水タンク内の水がチャンバー内に流入する。  
チャンバー内の水位センサーが水を検知した時点で、給水電磁弁が閉じ、給水タンクからの給水を完了する。

#### ④加熱工程

運転開始時に設定した滅菌温度に達するまで、滅菌ヒーターに通電し、チャンバー内の温度を上昇させて、蒸気を飽和させることによって、高圧力状態にする。  
チャンバー内部が滅菌温度に達すると、温度を安定させるために、滅菌ヒーターの通電 ON/OFF をしばらく繰り返す。

#### ⑤滅菌工程

滅菌温度に達すると、温度調節機にて滅菌工程中チャンバー内の滅菌温度を保持する。滅菌工程時間はタイマーによって自動設定される。

#### ⑥排蒸工程

滅菌時間が通過すると、給排水電磁弁が開き、チャンパーに残った熱湯を圧力と共に給水タンクに排出する。しばらくして、排蒸電磁弁も開き、蒸気を給水タンクに排出する。

#### ⑦乾燥工程

滅菌ヒーター、乾燥ヒーターが動作し、チャンパー内をある一定の温度で維持する。乾燥時間は任意で設定することができる。また、乾燥工程自体を選択しないこともできる。

#### ⑧完了

全工程が完了すると、完了ランプが点灯しアラームが鳴る。  
ドア開きボタンを押し、ドアを開く。

### 【使用目的または効果】

高圧を有する蒸気を容器に導入し、湿熱を利用し医療に使用する器具機材を滅菌すること。

### 【使用方法等】

本機の使用方法的概略を以下に述べる。

- ①給水タンクに水道水を給水する。
- ②電源を入れる。(ON)
- ③ドアを開く。
- ④チャンパーにトレイ台をセットする。
- ⑤被滅菌物をトレイに入れて、チャンパーに収納する。
- ⑥ドアを閉じる。
- ⑦操作パネルの運転開始ボタンを押す。
- ⑧ドアが自動的にロックされ、運転で開始される。
- ⑨運転が完了すると、アラームで報知する。
- ⑩ディスプレイに【正常完了】と表示されていることを確認する。
- ⑪圧力計の針が「0」を指していることを確認し、ストップボタンを押す。
- ⑫ドアを開く。
- ⑬被滅菌物の入ったトレイを、トレイ取っ手を用いて取り出す。
- ⑭ドアを閉じる。
- ⑮電源を切る。(OFF)

### 【使用上の注意】

- ①チャンパーに給水する水は、水道水を使用する。  
精製水、蒸留水など純度の高い水を使用する時は、水道水を10%程度混ぜること。
- ②チャンパー内に必ずトレイ台をセットする。
- ③被滅菌物は滅菌する前に洗浄する。
- ④被滅菌物はトレイ台に直接置かないこと。
- ⑤被滅菌物はトレイに入れすぎないようにする。
- ⑥被滅菌物の耐熱温度を必ず確認し、耐熱温度よりも低い滅菌温度で運転すること。
- ⑦運転完了後、滅菌物を本器内で保管しないこと。
- ⑧ディスプレイ部に満水エラーが表示した時は、給水タンクの水を捨てること。

### 【保管方法及び有効期間等】

[設置環境 (温度、湿度等)]

- ①使用場所 屋内
- ②周囲温度 10～35℃
- ③相対湿度 15～85% (但し結露なきこと)  
※温度35℃の時は湿度48%以下  
湿度85%の時は温度28℃以下
- ④気 圧 800～1013hPa

[保管環境条件 (温度、湿度等)]

- ①使用場所 屋内
- ②周囲温度 10～35℃
- ③相対湿度 15～85% (但し結露なきこと)  
※温度35℃の時は湿度48%以下  
湿度85%の時は温度28℃以下
- ④気 圧 800～1013hPa

[耐用期間]

指定された正規の保守点検を行なった場合、8年

[自己認証 (当社データ) による]

### 【医療機器の廃棄】

機器や交換した部品を廃棄するときは、感染予防を充分に行い、その時点での法規制に従い、適切な処理をしてください。

### 【保守点検に係る事項】

[使用者による保守点検事項]

| 点検項目                          | 点検時期 |
|-------------------------------|------|
| ①チャンパー内部の汚れチェック、清掃            | 毎日   |
| ②フィルターの汚れチェック、清掃              | 毎日   |
| ③ドアパッキン及びドアパッキン当たり面の汚れチェック、清掃 | 毎日   |
| ④水受け皿に水が溜まっているかチェック           | 毎日   |
| ⑤チャンパー内部水位センサーチェック、清掃         | 毎日   |
| ⑥給水タンクのお手入れ                   | 月1回  |
| ⑦外部ストレーナーのチェック、清掃             | 月1回  |
| ⑧エアフィルターの交換                   | 年1回  |
| ⑨ドアパッキンの交換                    | 年1回  |

[業者による保守点検事項 (有料)]

| 点検項目                   | 点検時期 |
|------------------------|------|
| ①ドアロック機構回りの動作チェック及び注油等 | 4年1回 |
| ②ドアインターロックの動作チェック      | 4年1回 |
| ③安全弁の動作チェック            | 4年1回 |
| ④配線回りのコネクタチェック         | 4年1回 |
| ⑤配管回り漏れチェック            | 4年1回 |
| ⑥外部ストレーナーリングの摩耗チェック    | 4年1回 |
| ⑦電磁弁の漏れチェック            | 4年1回 |
| ⑧フロートスイッチの動作チェック       | 4年1回 |
| ⑨圧力計の動作チェック            | 4年1回 |

### 【包装】 1台/箱 紙製ダンボールによる梱包

### 【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称等】

製造販売元：株式会社湯山製作所  
電話番号：06-6868-5155  
販 売 元：タカラベルモント株式会社  
電話番号：06-6212-3619

### 【主要文献及び文献請求先】

名 称：株式会社湯山製作所  
電話番号：06-6868-5155